

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	20%	40%	・指導訓練室がオープンスペース(個別学習・集団での運動が目的別に分けられている)で狭さは感じない。 ・学習スペースでは、間仕切りなどを工夫することで、より集中できる環境になると思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	20%	60%	・送迎の時間が重なる時があり、施設内の職員の人数が少なくなる為、職員は余裕をもって配置できたら良いと思う。 ・安全に気をつけて、支援を行っているが、より送迎スタッフを増やすことで、児童との対話の時間がよりできると思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	40%	0%	60%	・利用保護者には、利用前の事前説明を行っているが、2階の事業所の為、昇降階段については歩行が難しい子どもなどには配慮が必要である。 ・事業所内にはつまづくような段差がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	40%	20%	・毎日、午前中と午後の早い時間に支援目標の設定を行い、翌日に振り返りを行っている。 ・全職員が意見を出し合っ、ミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	40%	40%	20%	・年度毎の自己評価については、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	40%	20%	・相談支援所のモニタリングなどを通じてもらった意見をもとに業務の見直しを行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%	20%	0%	・オンライン動画での研修を受講している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	40%	60%	0%	・定期的にミーティングを行い、各児童の「課題」について、全職員で確認を行い、適切な支援方法を検討している。 ・使用する支援記録にて、適切な確認ができるようにチェック項目が設定されている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	40%	0%	・事業所内の標準ツールは用意されているが、理解している職員とそうでない職員がいる。(教育がまだ不十分だと思われる)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	40%	20%	40%	・学習や身辺自立の習慣化の取り組みが多く、活動プログラムが固定的になりやすい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	40%	40%	20%	・長期休暇には、外出をもっと多くしても良いと思う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	40%	0%	・今後、集団活動をもっと取り入れていくべきでないかと思う。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%	0%	・毎日ミーティングを行い、支援内容、役割分担は都度確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	60%	20%	20%	・翌日に前日の支援の振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%	0%	・日々の支援した具体的な状況や子供の様子を記録している。また、支援記録をもとに、職員間で情報共有し、改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	40%	60%	0%	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	40%	60%	0%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	60%	40%	0%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	40%	60%	0%	・学校の行事予定と保護者からの連絡・下校時間の情報が直接学校から入る流れを作りたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	0%	100%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	40%	60%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	40%	20%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	20%	20%	60%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	60%	40%	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%	60%	0%	・地域の自立支援協議会の参加依頼があれば、必ず参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	40%	40%	20%	・保護者者とはSNSなどを通じ、都度の活動状況や課題などを共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	40%	40%	20%		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	20%	60%	20%	・契約時や面談の時に、必要だと思われる情報を保護者へ提供している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	40%	20%	40%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	40%	40%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%	0%	・職員全員ですぐに共有し、迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%	0%	
	35	個人情報に十分注意しているか	80%	20%	0%	・社内で使用する書類の一部において、児童の名前がイニシャルを用いるようになった。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	20%	0%	80%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	60%	40%	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0%	60%	40%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20%	60%	20%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	20%	20%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	40%	40%	20%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	40%	20%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20%	60%	20%	・社内の情報ツールを用いて、共有しているものの、職員の理解に差が生じている。